

南あわじ市 平成 20 年度 事務事業評価シート 新規 継続
(事業 委託 補助用)

I 基本事項

整理番号 1407

事業名	B & G 事業		予算科目	会計	一般会計・1
担当部課名	教育部	生涯学習文化振興課		款	教育費・10款
電話	0799 - 37 - 3020			項	保健体育費・6項
事業分類	<input type="checkbox"/> 義務的(法定)事務 <input checked="" type="checkbox"/> 任意的(自治)事務	法的根拠 (法令、条例、要綱等)		目	体育施設費・3目
南あわじ市総合計画 施策体系	まちづくりの柱	人づくり 知恵あふれ 郷土愛が満ちるまちづくり			
	まちづくりの目標	情熱と生きる喜びあふれるまち(生きがい)			
	施策目標	仲間との絆を深め、情緒やセンスを磨く、芸術文化活動・スポーツ活動を盛んにする			
該当する事業について「 」を選択		施策的事業	業務委託	負担金補助	

II Plan (計画、事業内容、事業背景)

事業概要	目的	対象(誰を・どのような状況の人に)	
		・海洋センターの事業、活動に参加する人。	対象人数(人) 1,800
		意図(どのような状態になってもらいたいのか、事業を実施する「本来の目的」を記入)	
		<ul style="list-style-type: none"> ・各種スポーツ競技の普及振興を図る。 ・スポーツする楽しさを伝える機会をあたえる。 ・健康体力づくりの増進。 ・海洋性スポーツの普及とともに自然環境への理解を深める。 	
	実施内容	(何をどのような手段・内容・手順により目的を達成させるのか)	
	<ul style="list-style-type: none"> ・各スポーツの全淡規模の大会の実施 ・B & G財団が実施する健康体力づくり事業の実施。 ・海洋スポーツ大会の実施。 ・海洋クラブの実施。 ・海洋教室の実施。 		
背景	(どのような現状・課題・要望によって事業が実施されるに至ったか、他の自治体の動向など)		
	<ul style="list-style-type: none"> ・B & G記念大会については、海洋センターが昭和53年に開所し、その後に増築された武道館のオープンを記念して、青少年の健全育成と武道の振興を図るために柔道、少林寺の大会を開催している。 ・B & G財団が提唱する健康体力づくり、海洋スポーツの普及、特に青少年の健全育成についての取り組みをヨット、カヌー等を使っての海洋スポーツ体験によって実施している。 		
	事業実施主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市直営 <input type="checkbox"/> 民間・その他 ()	
	事業期間	<input type="checkbox"/> 平成 年度 ~ 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 設定なし	
合併協議事務調整内容	(合併前における事業実施団体と合併時における事務調整経緯)		
	<input type="checkbox"/> 旧緑町 <input type="checkbox"/> 旧西淡町 <input type="checkbox"/> 旧三原町 <input checked="" type="checkbox"/> 旧南淡町 <input type="checkbox"/> 旧広域事務組合 <input type="checkbox"/> 新市から 旧町より継続されている事業や、新市になって新規事業になったイベント等もある。		

Ⅲ Do (事業活動・成果、投入資源・コスト)

「実施内容」により得られる活動結果指標 (アウトプット)	指標名	参加人数	指標単位			
			人			
	指標説明 (指標算出方法等)	普及度や活動状況を確認するために参加人数とする。				
		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	
	目標値	1,750	2,000	1,800	1,800	
	実績値	1,039	1,414	1,323		
	達成度 (%)	59.4	70.7	73.5	-	
	目標値設定の考え方	年度ごとの各事業の最大参加可能人数の90%				
アウトプットにより達成される「目的」に対する事業の成果指標 (アウトカム)	指標名	参加人数	指標単位			
			人			
	指標説明 (指標算出方法等)	本来、健康体力づくりが達成できて、医療費の削減につながるかと、海洋性スポーツの普及等の度合いを測る指標は簡単なものではないので、参加人数とした。				
		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	
	目標値	1,750	2,000	1,800	1,800	
	実績値	1,039	1,414	1,323		
	達成度 (%)	59.4	70.7	73.5	-	
	目標値設定の考え方	年度ごとの各事業の最大参加可能人数の90%				
資源配分 (インプット)		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	
	直接事業費 (千円)	588	440	677	668	
	記念品	250	200	251	262	
	普通旅費	253	137	269	275	
	食料費	63	68	63	20	
	通行料及び駐車料	22	35	94	111	
	財源 (千円)					
	国					
	県					
	起債					
	その他					
	一般財源[A]	588	440	677	668	
	人件費(正規職員)[B] (千円)	1,495	1,806	1,674	1,674	
	平均人件費(1日当り)	29.9	30.1	27.9	27.9	
	事業量1(事業に要した日数)	25	30	30	30	
	事業量2(事業に要した人数)	2	2	2	2	
年間経費([A]+[B])	2,083	2,246	2,351	2,342		
「目的」対象人数1人当り経費 (千円)	1.2	1.2	1.3	1.3		
受益者人数(1,800)1人当り経費(千円)	1.2	1.2	1.3	1.3		
経費に関する補足説明	直接経費について、平成19年度が減少しているのは、当市で県、近畿の事業を実施したことによる旅費の減と大会参加費の徴収による経費の縮減のためである。					

IV Check (事業の自己評価・一次評価)

	単位	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	
達成度	活動結果指標目標達成度	%	59.4	70.7	73.5	-
	(アウトプットの達成度分析、問題点・課題などを記入。) 全国のB & G施設に対し、B & G財団が活動評価を毎年、年2回実施しており、その中では平成19年度後期より最上級の「特A」の評価を受けています。これは施設の利用人数や事業への取り組み状況やその結果等を評価されたものです。当市の行政評価とは異なる部分も多いのですが、参考に記述します。近年達成度が上がってきておりますが、B & G事業をこれ以上目標に向けて進めることは、他事業との関係で配置人員数から困難であると考えます。					自己評価 (5点評価) 3
有効性	成果指標目標達成度	%	59.4	70.7	73.5	-
	成果向上率	%	-	36.1	-	100.0
	(事業実施による目的に対しての有効性分析、問題点・課題などを記入。) 大会を実施している種目については、それなりの普及振興が図られており、B & G関係事業については、まだ合併後間もないことから普及度が浅いが、参加者の反応は良いので今後に期待で切れるものと考えます。					自己評価 (5点評価) 4
効率性	活動実績1単位当り経費	千円	2.0	1.6	1.8	-
	効率性増減率	%	-	20.8	-	#VALUE!
	(効率性・コストの分析、問題点・課題などを記入。) コスト面では高いものでないが、今後も受益者負担等で経費縮減を図らねばならない。					自己評価 (5点評価) 4
必要性	公共性の高低	<input checked="" type="checkbox"/> 高	<input type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> 低		
	(公共性、市民ニーズ、緊急性などを分析、問題点・課題などを記入。) 本事業の特徴は、B & G活動であり目的は他の生涯体育活動とほぼ同じではあるが、海洋性スポーツの特性を生かした活動に主体を置いていることや最近では幼児や高齢者を対象にしたプログラムも多くあるので、多様な事業展開の可能性がります。					自己評価 (5点評価) 4
総合評価	自己評価をふまえた現状分析 有効で必要性が多分にありますが、市内の多様なニーズの中で本事業を中心に据えて実施していくことが難しい中、各方面と協調、調整して事業進捗を図らねばならない。					<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>評価グラフ</p> </div>

V Action&Plan (改善の内容及び次年度以降の計画)

	平成21年度にできる改善・改革	平成22年度以降にできる中期的な改善・改革
今後の方向性とその理由	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 予算充実 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 手法見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 予算充実 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 手法見直し
	受益者負担やB & G財団の支援の拡充で事業の向上を図る。	同左
(現状維持以外の改善方法)		
改善によって期待される効果	効果(アウトカム)面	効果(アウトカム)面
	コスト面	コスト面
(現状維持の場合も記入)	仮に 事業を中止、統廃合した場合に予測される影響(プラス面、マイナス面) プラス面は、経費節減と人的な余裕ができ、その他の事業を展開することが出来る。 マイナス面としては、昭和53年のセンター開所以来、継続してきた事業を中止した場合は、積み上げてきた活動実績から今後もたらされていくであろう波及効果を失うことになること及びB & G財団との関係を絶つことになる影響は多大である。	